

1. かわまちづくりにおける 河川管理者の課題意識の構造分析

水循環・まちづくり・防災グループ
研究員 阿部 充

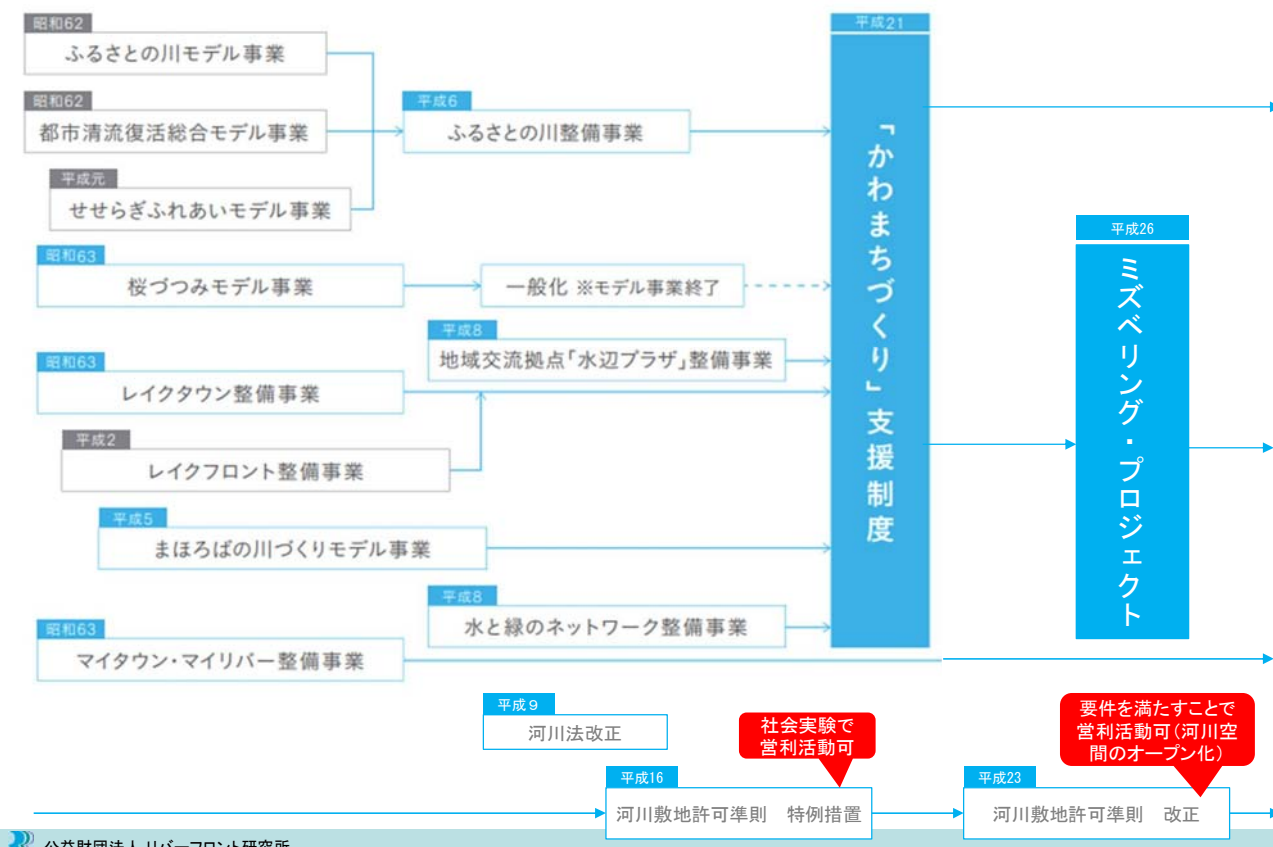
1. 背景と目的

かわまちづくりとは

- ・かわまちづくり＝**河川空間**と**まち空間**の融合が図られた、
良好な空間形成を目指す取り組み
- ・H21(2009)年度 **「かわまちづくり」支援制度** 創設
- ・市町村や民間事業者等の地域が「かわまちづくり計画」を
策定
- ・「かわまちづくり計画」の登録により、河川管理者がソフト・
ハード両面の支援を実施

1. 背景と目的

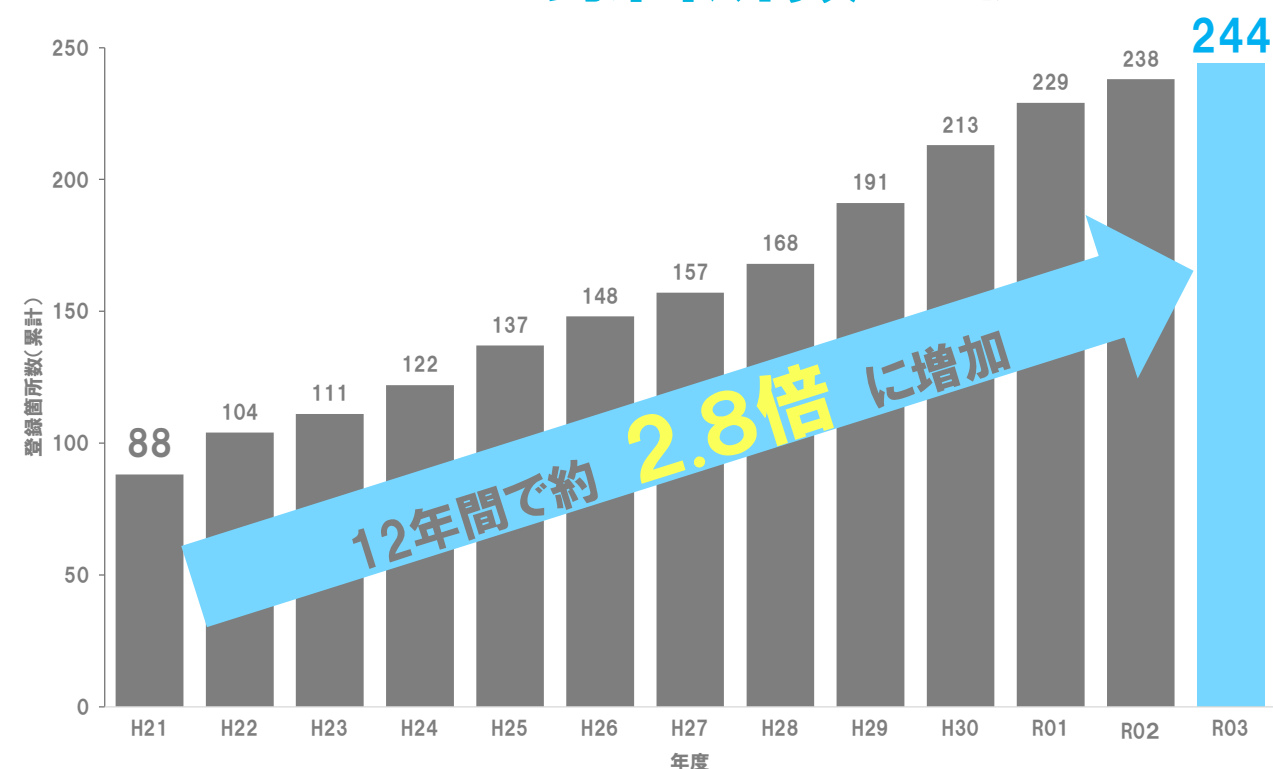
かわまちづくりに関する施策経緯



公益財団法人 リバーフロント研究所

1. 背景と目的

かわまちづくり計画登録箇所数の推移



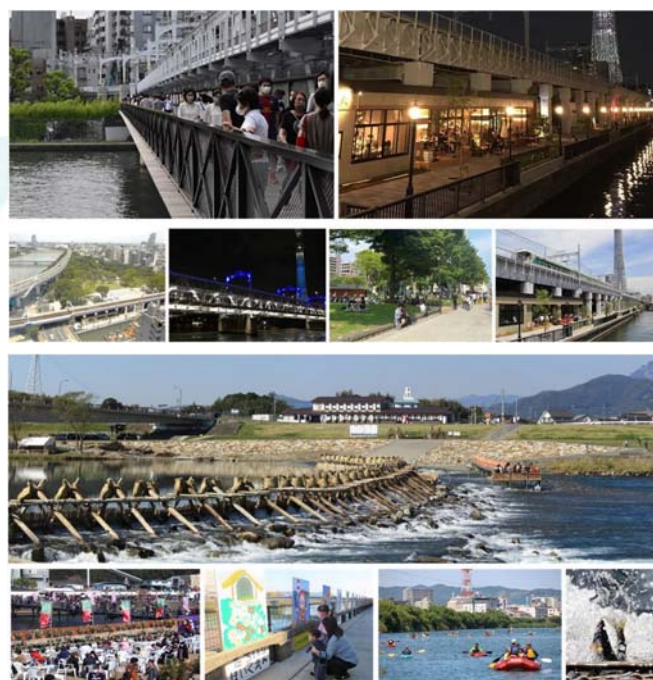
公益財団法人 リバーフロント研究所

かわまち大賞の創設(2018年度)

- ・模範となる先進的な「かわまちづくり」を**国土交通大臣が表彰**し、全国に周知。
- ・取組団体を讃えるとともに、「かわまちづくり」支援制度を浸透させ、民間事業者の参入を促進し、民間事業者のもつ「ノウハウ」等を活かした質の高い「かわまちづくり」を目指す。

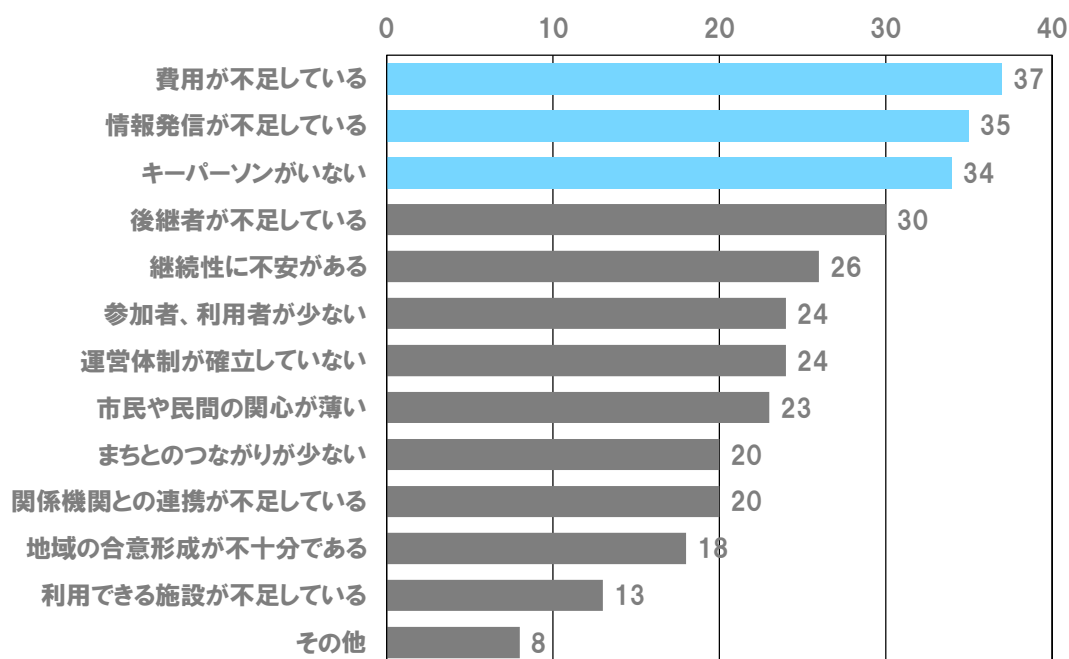


かわまち大賞のねらい



令和2年度「かわまち大賞」報道発表資料より

既存の研究:かわまちづくりの課題(2016年度)

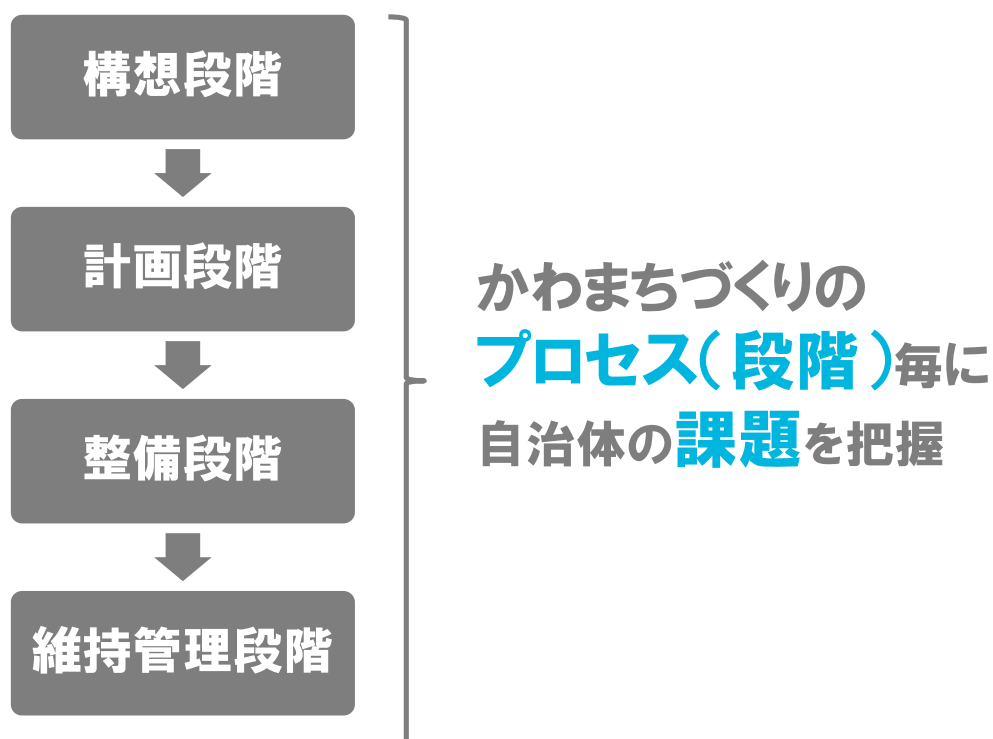


(河川数:178)



傾向は概ね把握できたが、地域の状況やかわまちづくりのプロセスによって課題が異なりそう

昨年度の報告(2020年度)



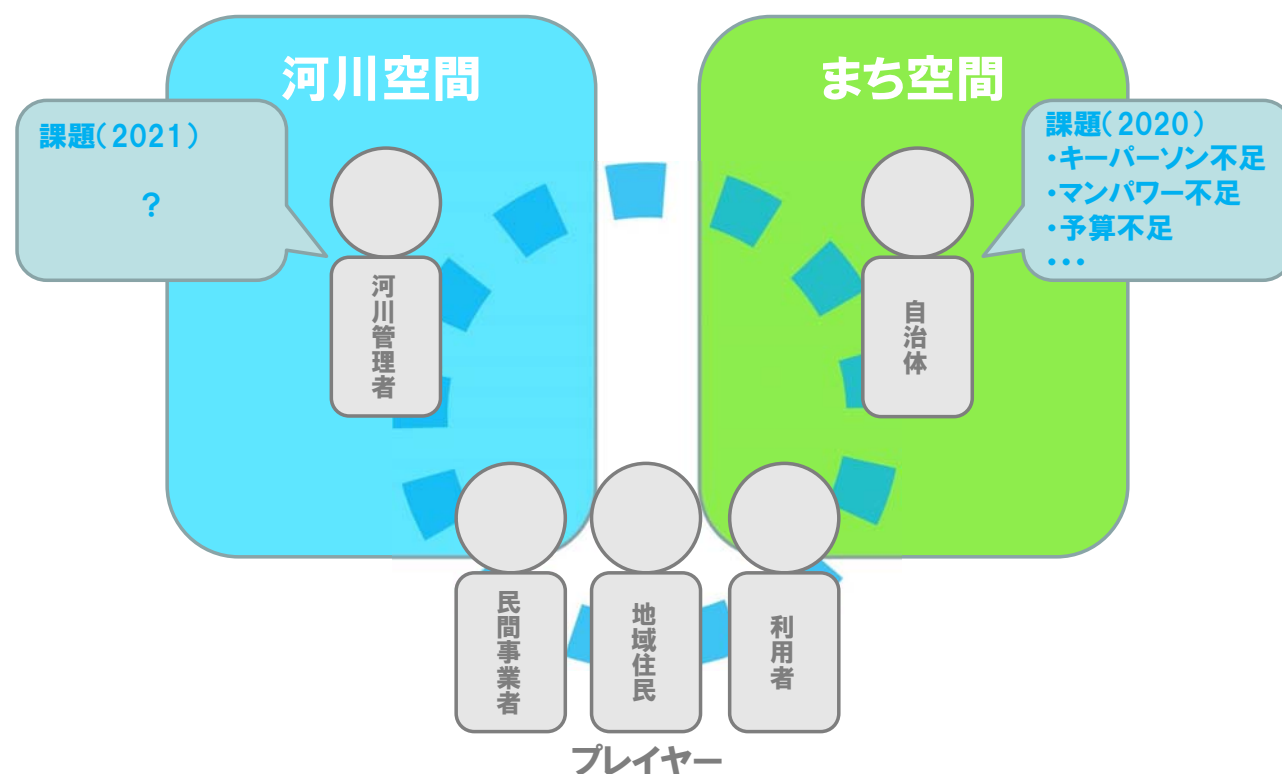
公益財団法人 リバーフロント研究所

昨年度の報告(2020年度)

プロセス	課題	原因
構想段階	・計画策定まで至らない	①キーパーソン不足
計画段階		②マンパワー不足 ②予算不足
整備段階	・整備が計画通り進まない	①予算不足 ②河川管理者との連携不足 ③計画自体の熟度不足
	・利用者が増加していない	①情報発信不足 ②民間参入が困難 ③キーパーソン不足
	・維持管理に苦慮	①予算不足
維持管理段階	・利用者が増加していない	①キーパーソン不足 ②民間参入が困難 ②マンパワー不足 ②情報発信不足
	・維持管理に苦慮	①予算不足

公益財団法人 リバーフロント研究所

かわまちづくりの主な関係者



公益財団法人 リバーフロント研究所

本日のお題

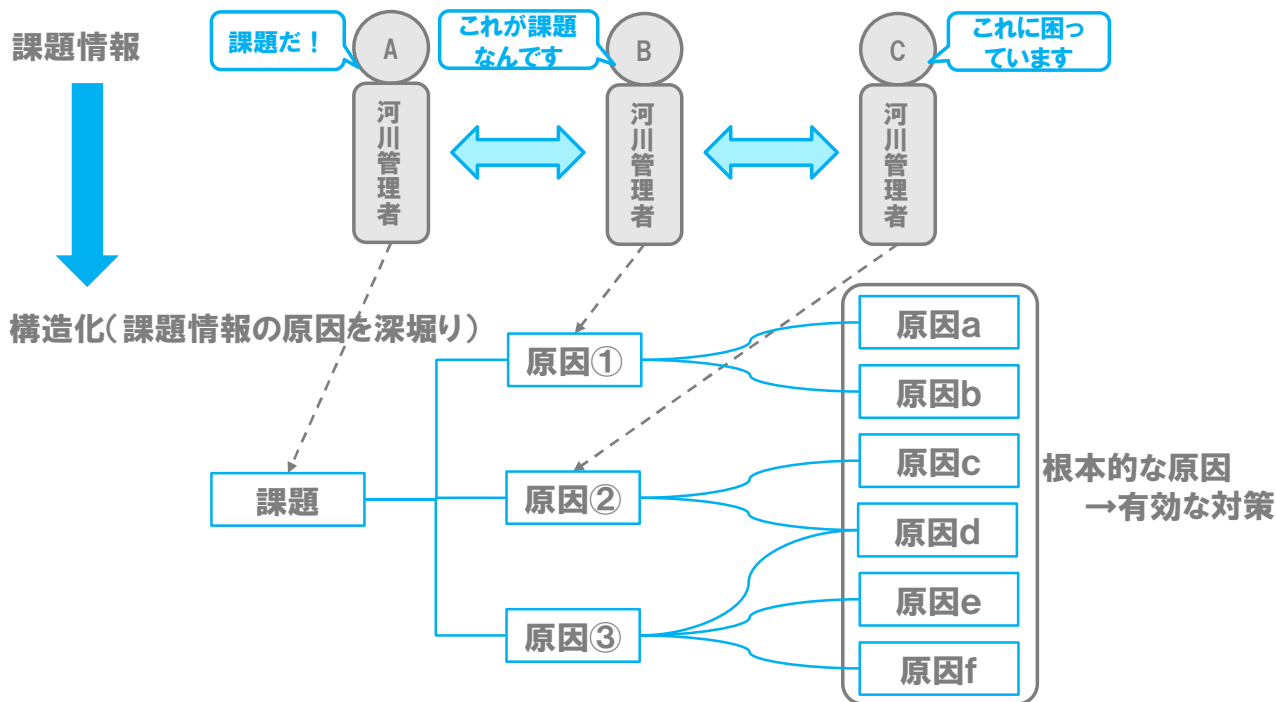
かわまちづくりにおける 河川管理者の課題意識の 構造分析

試論

公益財団法人 リバーフロント研究所

課題の構造分析とは？

2. 研究方法



- ・担当者によって、同じ課題を別のレベルで把握、表現している場合がある
- ・本発表では、課題情報の構造化とその特徴についての考察を構造分析と呼ぶ
- ・根本的な原因を把握とその対策を検討することができる可能性がある

公益財団法人 リバーフロント研究所

河川管理者の課題抽出

2. 研究方法

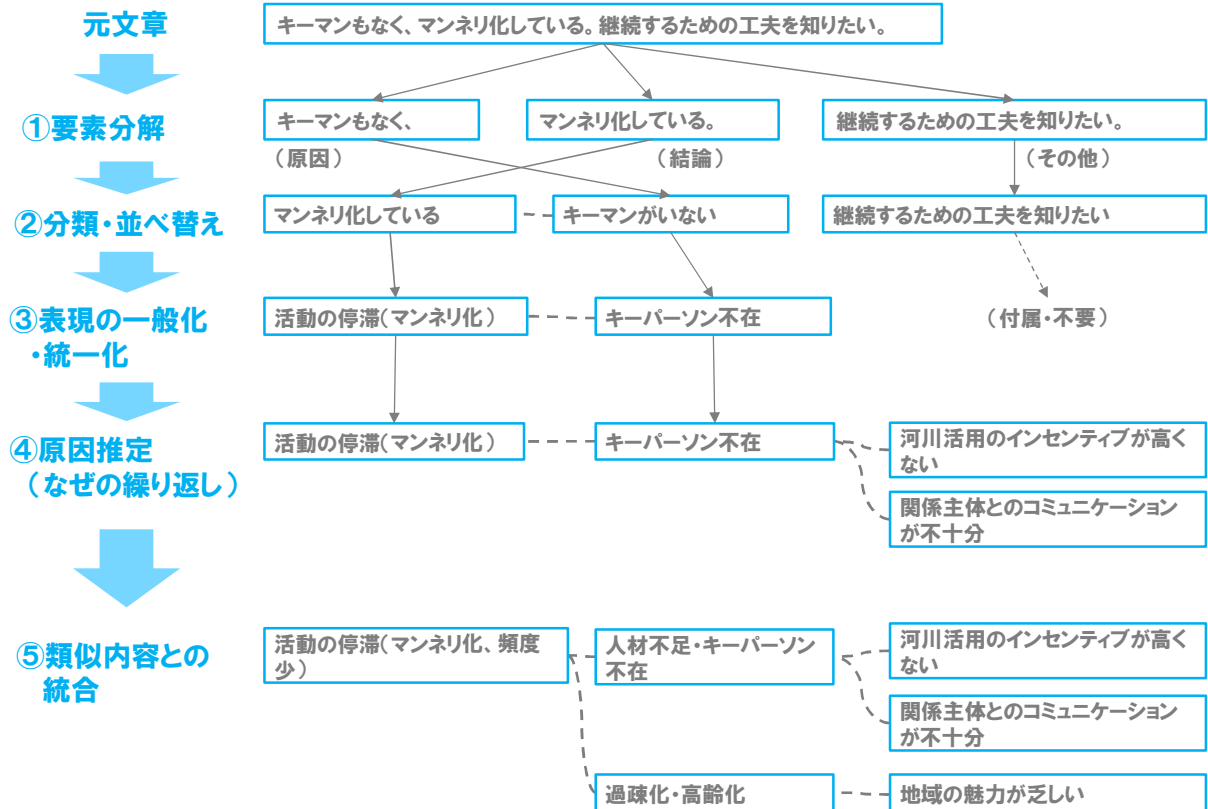
- ・活動される方の高齢化、資金調達など。
- ・現在担当している地域では、ここ5年程度で人口の約1割が減少し、過疎化・高齢化が進んでいる。地域の関係者は高齢化が進む一方、新しい人材や若手がどんどん少なくなり自治体の財政も厳しい状況である。
- ・キーマンもなく、マンネリ化している。継続するための工夫を知りたい。
- ・人によるところが大きい。
- ・策定後の計画実現に向け、国と自治体の事業費確保が困難となる場合があること。
- ・イベントでの川の利用が多いが、地域一体的ではない。現状の利用状況を知るだけでも一年を要する。
- ・地元や川に興味を持っていただく上で、活動の輪を広げる上で、地域とのコミュニケーションも課題。
- ・相談を受ける機会が多いが、それを渡に乗せる聞き方、タイミング等が難しい。
- ・かわまちの事業もなく、地域と関わるきっかけがないことが課題。
- ・都市・地域再生等利用区域の指定において、地域住民が利活用に興味があっても、自治体側では窓口が定まらず議論が進まなかったことがあった。自治体を積極的に変えるヒントが欲しい。
- ・私の経験上では自治体は新たな地域のイベントについて、消極的に考えている場合が多かった。継続的に実施していたイベントも取り組んできた人材がいなくなると、続けられなくなる。
- ・目標達成に向けた具体的施策を立案するために、地域住民から多くの意見を聴取しても、実現に向けた活動がスタートできないことが多いこと。
- ・かわまちを担当して3年になり地域とつながり、自分も一緒に楽しめるようになったが、かわまち担当者以外の職員への広がりがない。担当者が交代すると地域とのつながりが途切れることが課題。
- ・地域要望の把握など地域との繋がりが重要と思うが異動もあり関係性構築に課題(コーディネーターがいると良い)。
- ・基本、民間事業者は担当者が変わらないが、官公庁は人事異動等で担当者が変わる。どんなにうまく引き継ぎをされたとしても問題が生じる恐れがあるので、「調整」や「連携」を含めた情報共有を怠らないようにすべき。また、官公庁同士の方が傾向が強いと感じるので同様の対応が必要となると思う。
- ・地域活性化・観光といった専門性を有する課題に対し、河川担当職員がその知見を有している訳ではないことから、自治体等には的確な助言等が難しいところに課題を感じる。(チームの課題でもあり、河川管理者の課題でもある。)
- ・河川区域の利活用は、河川管理上の課題や地域問題に関わるものなどもあり、担当者対応ではなく組織的な対応(理解)が重要(担当が板挟みになるリスクがある)。
- ・河川区域内の営利目的での利活用と他の体験型観光(農泊やサイクリング等)とのつながり。
- ・サケ産卵床を観光資源にラフティング事業を実施したい者から河原を活用し易いよう河岸樹木の伐採を求められる一方、自然保護団体からはサケ産卵床を観光資源にすることへの危機感の河畔林の保全を求められ、河川管理者として治水・環境と利活用をうまくバランスさせる方向への調整が課題。
- ・地域の要望は国に対してハード整備や既存施設の改良を望むが、一般利用者の活用が極端に少ないことが多く、要望をどこまで実現させるのが課題と感じている。
- ・ハード対策を実施する立場として現在携わっている。かわまちづくり計画登録から数年経つと、絵(計画書)に書かれた通り工事の計画を立て、河川管理者目線で事業を進めるケースがある(ちょっと危険)。常に協議会メンバーや利用者目線(その時々ニーズを確認)で施設配置を考えることが大切。かわまちづくりのメインは「ソフト面」より良く使ってもらおう)と考えており、ハードのみでは河川空間のオープン化は期待できないと思っている。
- ・かわまちづくりの事業を進めるにあたって、協議会等を運営する事務局が重要であると感じている。事務局が、協議会等の役割を理解し、率先して協議会等をまとめることで、良好に事業が進むように感じている。
- ・市街地から観光地までをサイクリング利用ができるよう、天端舗装や案内表示(路面標示含む)等を整備した。案内表示については、協議会で議論の上設置したものであるが、スピード感を持って実施した反面、これらの維持管理については今後協議することとしており、課題として残っている状況。
- ・活動推進の段階では国交省の取組がメインになってくることから、地域との意見交換会でも国交省と地域との直接的なやりとりが多くなりがちで、自治体の主体性が低下しがち。

→アンケートより24件の課題(自由記述)を抽出

公益財団法人 リバーフロント研究所

構造分析の流れ

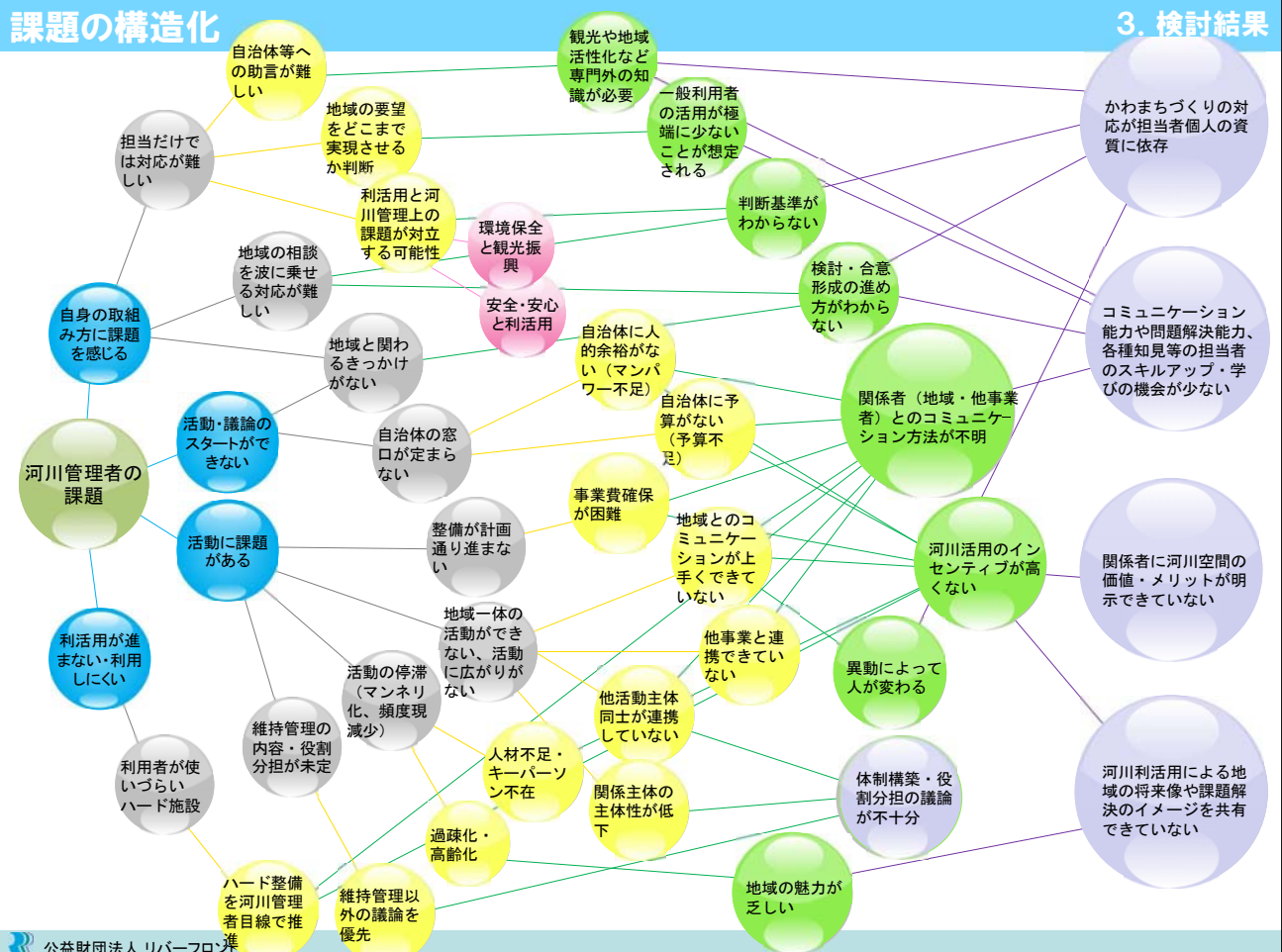
2. 研究方法



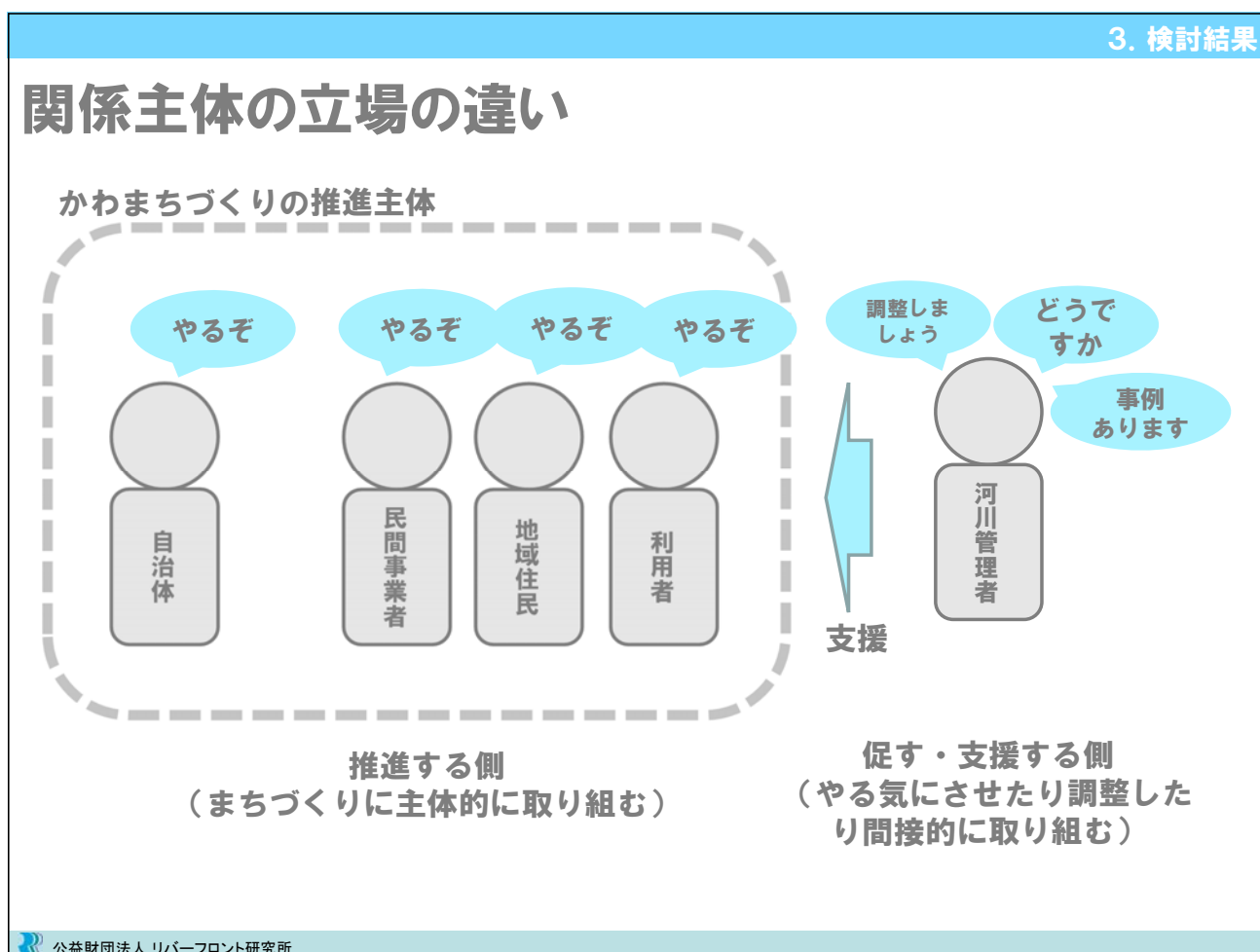
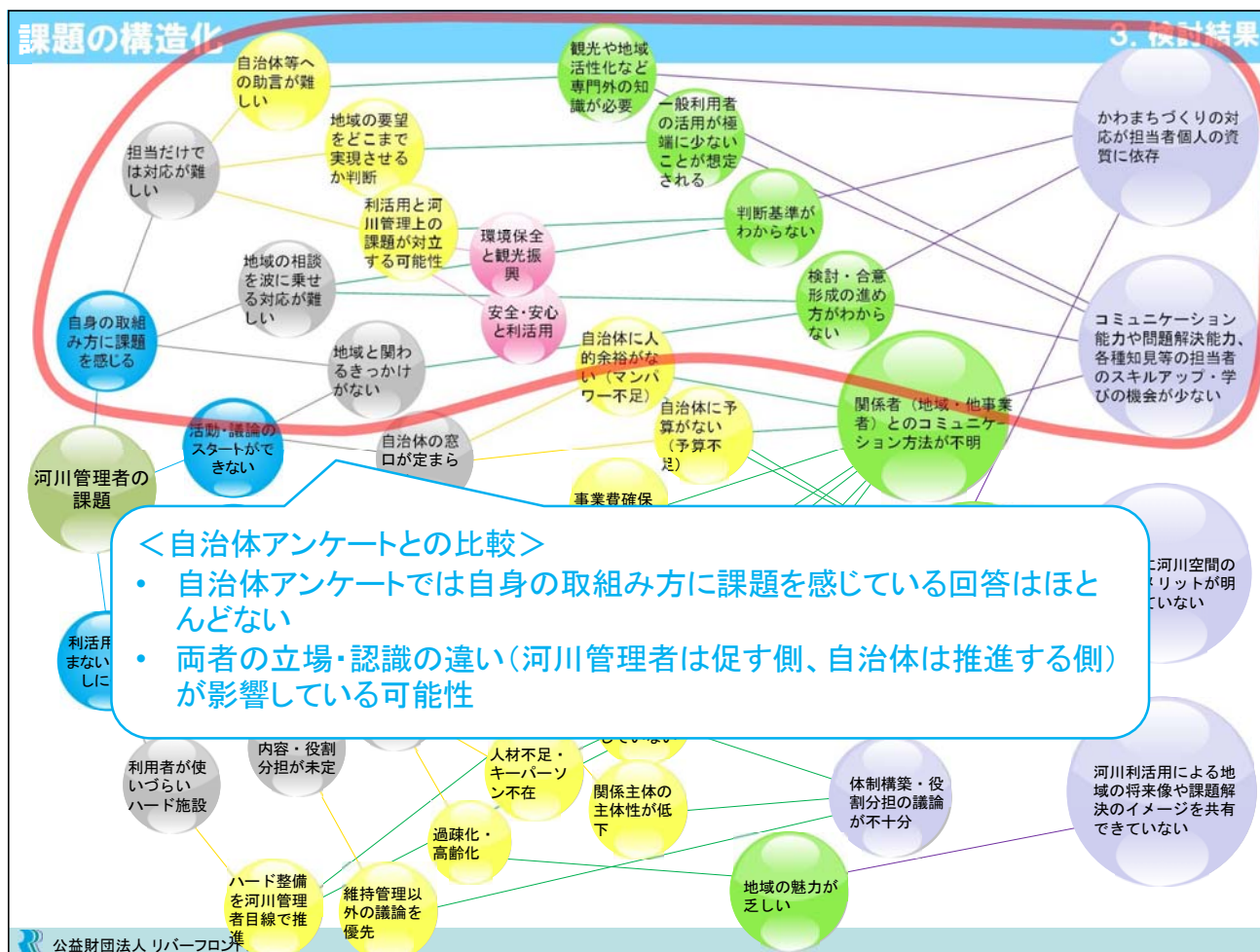
公益財団法人 リバーフロント研究所

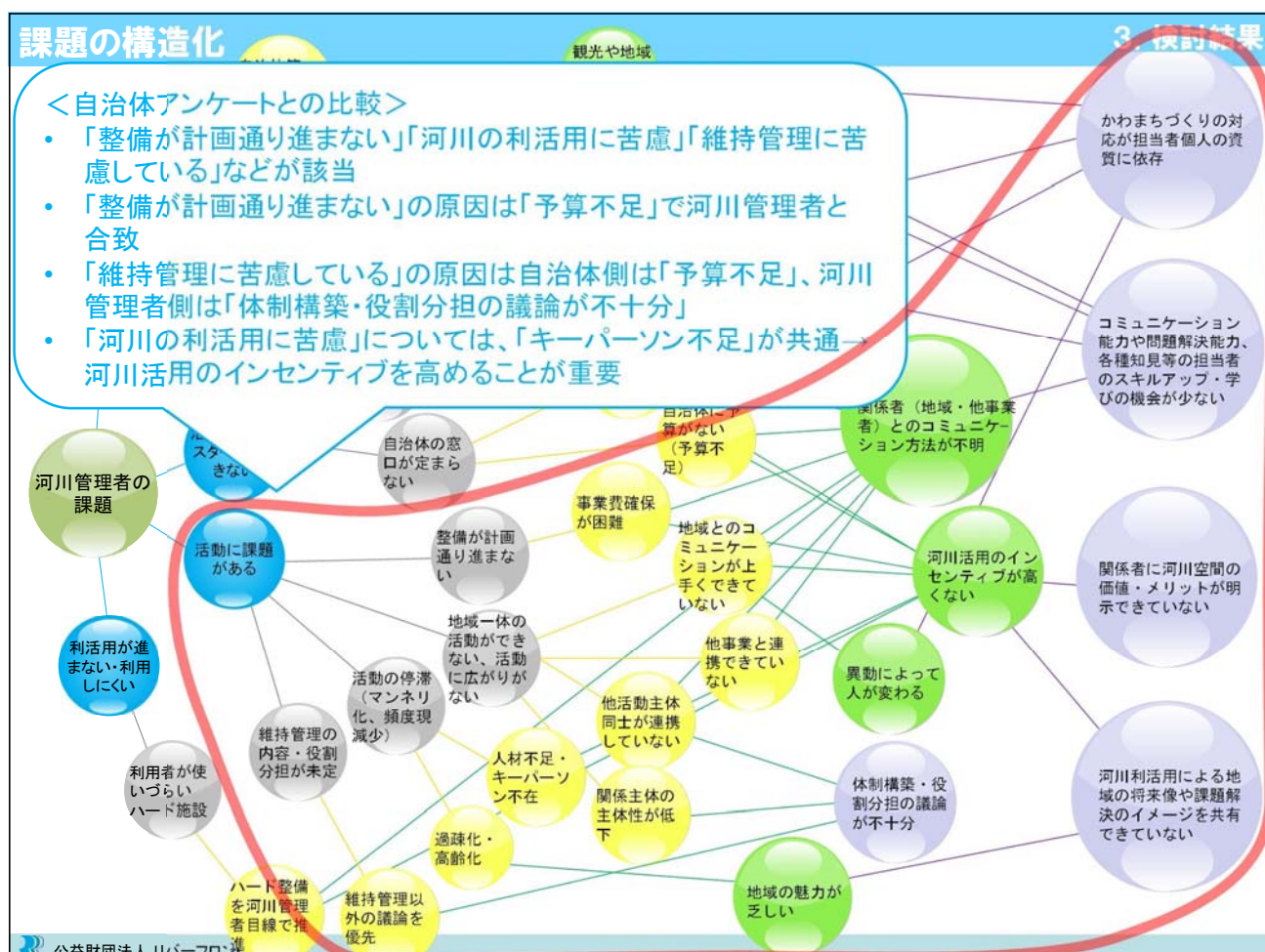
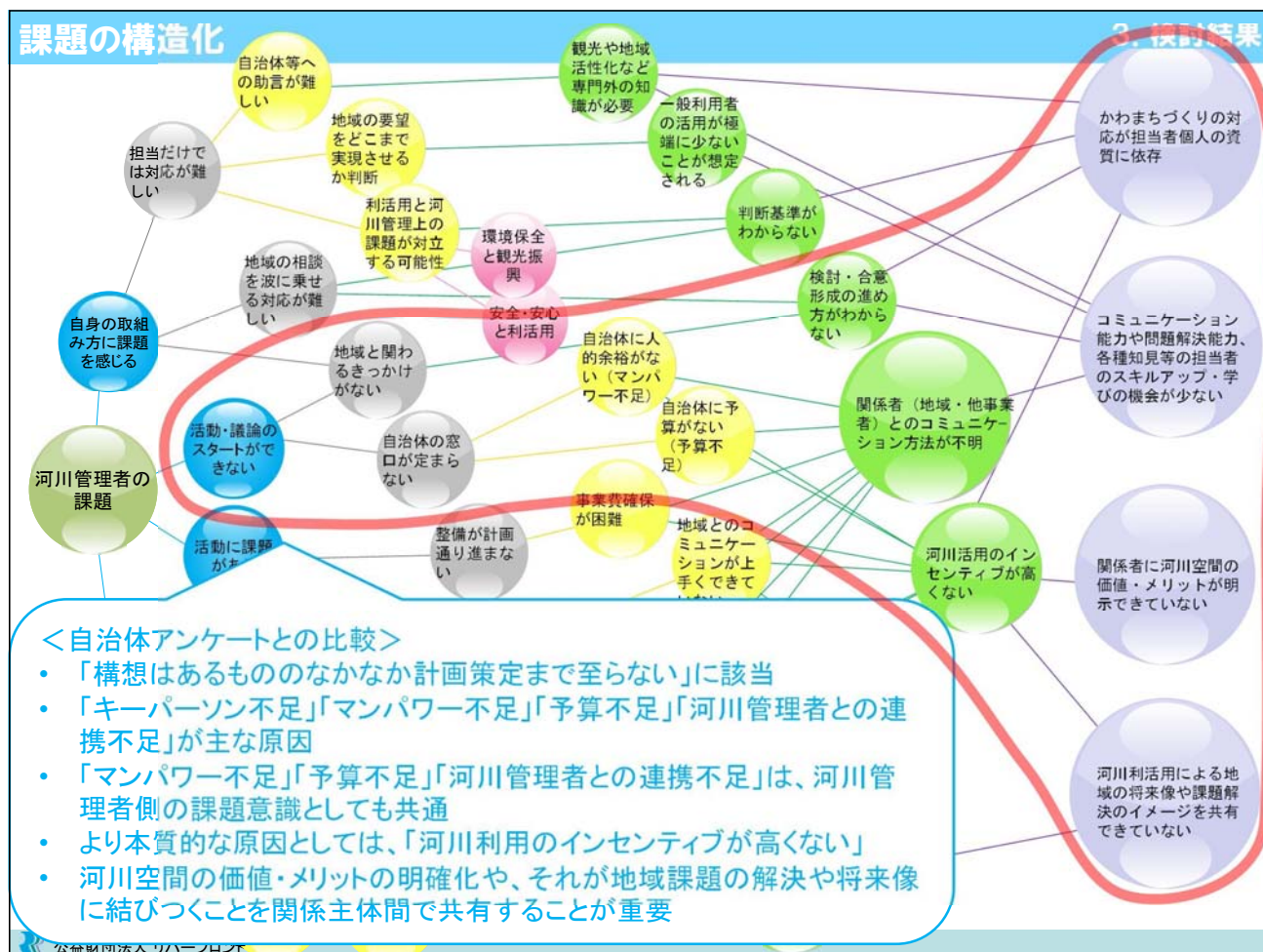
課題の構造化

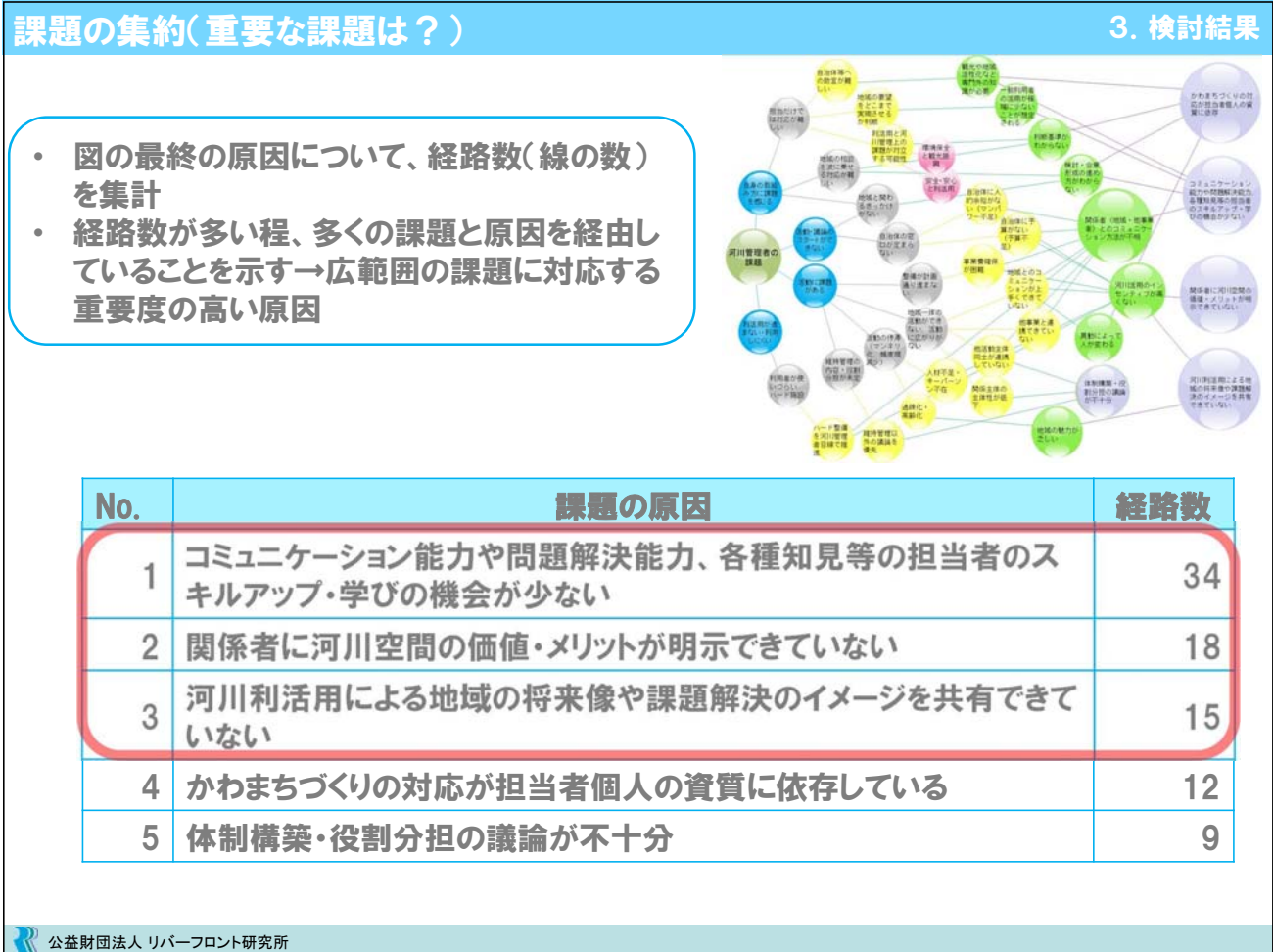
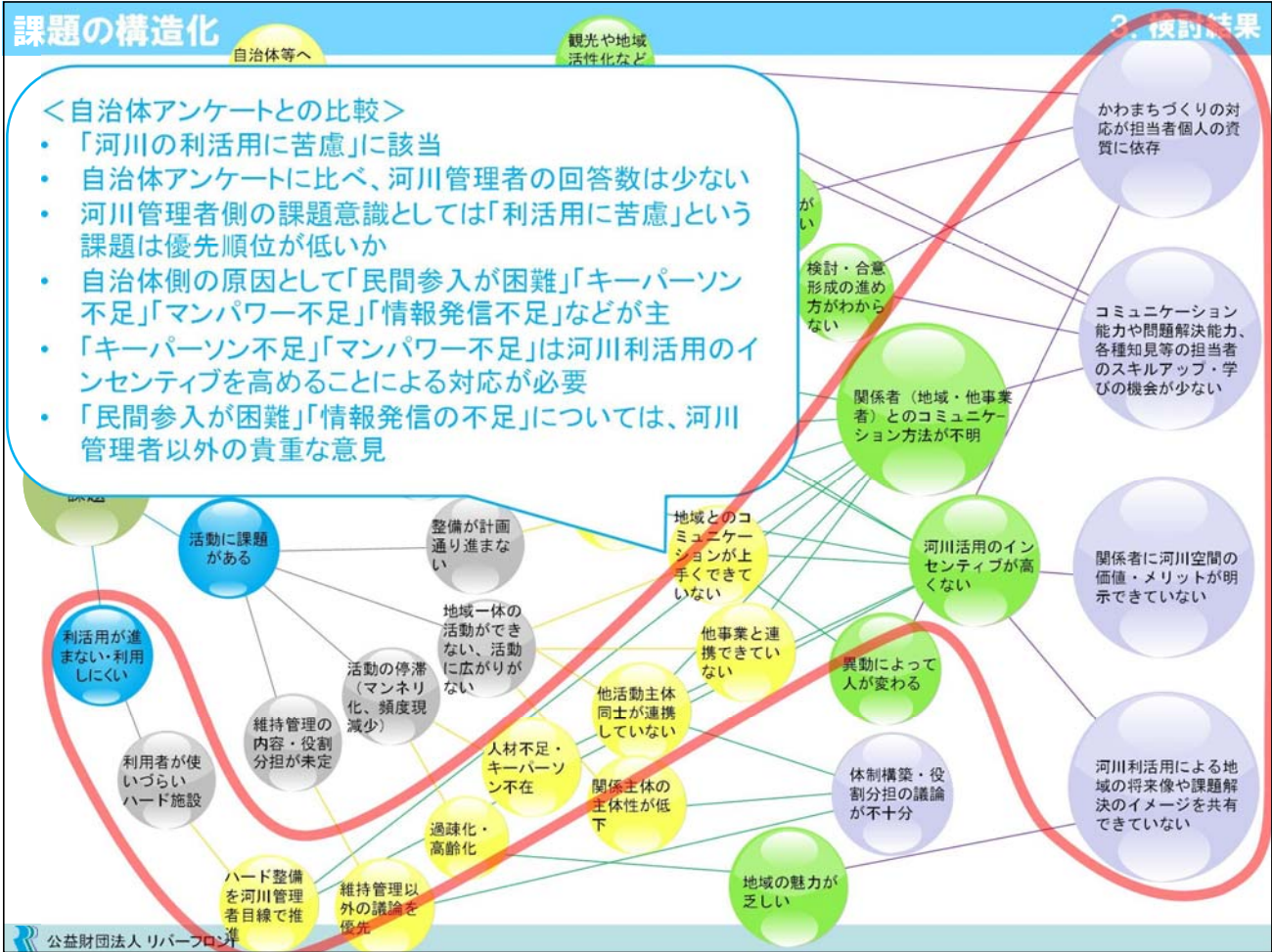
3. 検討結果



公益財団法人 リバーフロント研究所







4. まとめ

<河川管理者の課題解決の方向性>

- ・ 知見やコミュニケーション能力等の向上を図るという「**個人の能力向上**」
- ・ 河川空間活用のメリットを提示しながら将来像のイメージを共有しチームを形成しながら継続して議論するという「**チームによる取組推進**」

<河川管理者を支援する具体策>

- ・ 「**個人の能力向上**」
→ 専門知識や各種能力を向上させるような人材育成のプログラムや仕組みづくり、参考にできる事例やノウハウを記した手引き類の充実、ワークショップや事例発表会など担当者同士の経験が共有できる機会の創出など
- ・ 「**チームによる取組推進**」
→ かわまちづくりに取り組む箇所や各地のキーパーソンにつながることもできるネットワークの構築など

<今後>

- ・ データの蓄積と分析の充実による課題全体の構造的な把握と方策検討

おわりに

- ・ 民間や地域との連携、河川のオープン化、地域資産の活用等かわまちづくりが「どうあるべきか」「何をすべきか」などはすでに共通認識として定着
- ・ 今後は「どうやって実現するか」という部分について、細かな情報やノウハウの共有が求められている
- ・ リバフロの立場として、河川管理者をはじめとした関係者の活動に資する詳細な情報収集、制度設計に関する提案に努めるとともに、社会情勢や最新技術を踏まえ、より効果的な方策の模索。